

[前画面へ戻る](#)

科目名	行動科学B
科目名(英訳)	Behavioral Science B
科目ナンバー	HM239A02
詳細情報	授業外学修時間: 週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	胡 琴菊(非)
単位数	2
開講学年	2年
開講セメスター	秋期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択: HM
他学科受講	
履修順序・履修情報	類似科目情報あり
担当者及び時間割	
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	学科専門教育科目の中の関連科目として位置づけられる。関連科目は、教員免許などの資格取得に必要な科目群である。本講義は、教員免許取得に必要な「教科に関する科目」のうちの科目区分「哲学、倫理学、宗教学、心理学」(「公民」[高校])に属する科目の1つである。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①: ○ ③: ○ ④: ○
身につく基礎力 / 身につく汎用力	／ 豊かな教養 専門的知識・技能 学び続ける能力

授業の主旨 (概要)	人はなぜ、そのような行動をするのか。行動科学(behavioral science)は、人間のさまざまな行動に対して観察や実験などによって、科学的に研究し、その法則性を解明しようとする学問。その中には、心理学や社会学、精神医学、経済学、情報工学などが含まれている。特に、心理学は行動を扱う分野として行動科学の中心に位置している。 本講義では、個人行動、対人行動、集団行動、社会行動から身近な事例をまじえながら取り上げて解説する。人間の日常生活や教育・臨床場面における行動の理解、社会問題の解決やビジネス等にどう役立つのかを理解出来るようになることを目的とする。	
具体的 達成目標	人間の行動にかかわる諸理論、概念を理解できる。 様々な場面における人間の行動を予測・解釈できる。 諸理論を基盤とし、「人と共に、こころ豊かに生きる」ためのスキルを習得し、日常に応用できる。	
	1	【内容】 オリエンテーション 【授業外学習】 講義内で挙げられた概念や用語を整理し、プリントや参考文献等を活用し、日々の生活と関連づけながら「人のこころと行動」について自分なりに考えをまとめ、小レポートを作成する。
	2	【内容】 行動科学とは 【授業外学習】 講義内で挙げられた概念や用語を整理し、プリントや参考文献等を活用し、日々の生活と関連づけながら「人のこころと行動」について自分なりに考えをまとめ、小レポートを作成する。
	3	【内容】 行動の生物学的基盤(1) 【授業外学習】 講義内で挙げられた概念や用語を整理し、プリントや参考文献等を活用し、日々の生活と関連づけながら「人のこころと行動」について自分なりに考えをまとめ、小レポートを作成する。
	4	【内容】 行動の生物学的基盤(2) 【授業外学習】 講義内で挙げられた概念や用語を整理し、プリントや参考文献等を活用し、日々の生活と関連づけながら「人のこころと行動」について自分なりに考えをまとめ、小レポートを作成する。
		【内容】 人の行動とその成り立ち(1)

④ 授業計画	5	【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し,プリントや参考文献等を活用し,日々の生活と関連づけながら「人のこころと行動」について自分なりに考えをまとめ,小レポートを作成する。
	6	【内容】	人の行動とその成り立ち(2)
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し,プリントや参考文献等を活用し,日々の生活と関連づけながら「人のこころと行動」について自分なりに考えをまとめ,小レポートを作成する。
	7	【内容】	行動の基本となる学習(1):学習とは
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し,プリントや参考文献等を活用し,日々の生活と関連づけながら「人のこころと行動」について自分なりに考えをまとめ,小レポートを作成する。
	8	【内容】	行動の基本となる学習(2):学習理論の流れ
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し,プリントや参考文献等を活用し,日々の生活と関連づけながら「人のこころと行動」について自分なりに考えをまとめ,小レポートを作成する。
	9	【内容】	行動をあやつるもの(1):古典的条件づけ
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し,プリントや参考文献等を活用し,日々の生活と関連づけながら「人のこころと行動」について自分なりに考えをまとめ,小レポートを作成する。
	10	【内容】	行動をあやつるもの(2):オペラント条件づけ
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し,プリントや参考文献等を活用し,日々の生活と関連づけながら「人のこころと行動」について自分なりに考えをまとめ,小レポートを作成する。
	11	【内容】	行動の基本となる学習(3):さまざまな学習
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し,プリントや参考文献等を活用し,日々の生活と関連づけながら「人のこころと行動」について自分なりに考えをまとめ,小レポートを作成する。
	12	【内容】	行動生起のメカニズム:動機づけ
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し,プリントや参考文献等を活用し,日々の生活と関連づけながら「人のこころと行動」について自分なりに考えをまとめ,小レポートを作成する。
	13	【内容】	学習理論の応用:行動変容と行動療法
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し,プリントや参考文献等を活用し,日々の生活と関連づけながら「人のこころと行動」について自分なりに考えをまとめ,小レポートを作成する。
④ 授業方法	14	【内容】	神経科学と人間の行動
		【授業外学習】	講義内で挙げられた概念や用語を整理し,プリントや参考文献等を活用し,日々の生活と関連づけながら「人のこころと行動」について自分なりに考えをまとめ,小レポートを作成する。
④ 成績の評価方法	15	【内容】	総まとめ
		【授業外学習】	半期の授業において、振り返りを行う。
④ 授業方法	主に講義形式とするが,必要に応じてプリントを配布し,多様な資料を活用し,具体的,実践的な理解を図る。受講人数によってはディスカッションやグループワークを取り入れることがある。また,毎回授業外に講義内で挙げられた概念や用語を整理し,プリントや参考文献等を活用し,日々の生活と関連づけながら「人のこころと行動」について自分なりに考えをまとめ,小レポートを作成する。課題等については,基本的にはコメント等をつけて返却する予定であるが,多くの学生に共通するような一般的な注意事項等のコメントが多い場合は,個別に対応するのではなく,授業中に全員に対して一括してフィードバックする。		
④ 成績の評価方法	講義への積極的参加度と講義外の小レポート70%,定期試験30%等により総合的評価する。		
④ 成績の評価基準	成績の評価方法に基づき,100点満点で定められた成績評価基準・単位認定基準(S:90点以上 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上)に従って評価を行う。		
④ 教科書			
④ 参考文献			
④ 備考	講義中他の受講生に迷惑のかかるような行為(私語,飲食,携帯使用・遊びなど)を禁ずる。積極的な姿勢で授業に臨む。		
④ 関連ホームページ			

 メール アドレス	胡 琴菊 syn5995@fsc.chubu.ac.jp
 オフィス アワー	

[前画面へ戻る](#)